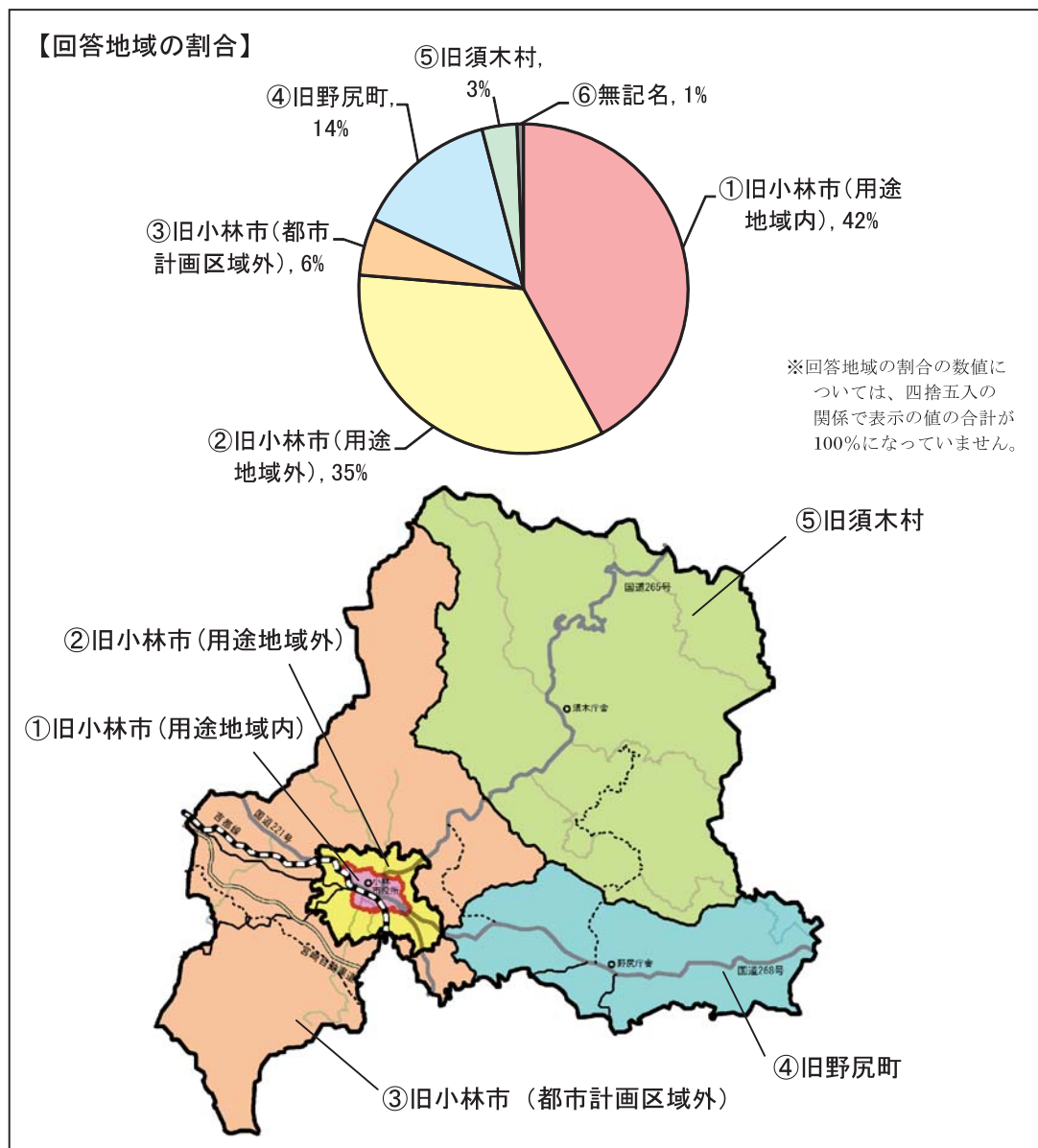


第5章 意向調査（アンケート調査結果）

18歳以上の市民（無作為抽出による1,200名）を対象として、「小林市の将来の都市・まちづくり」について、市民のみなさまのご意見やアイデアをお伺いすることを主旨としたアンケート調査を平成24年11月に実施しました。

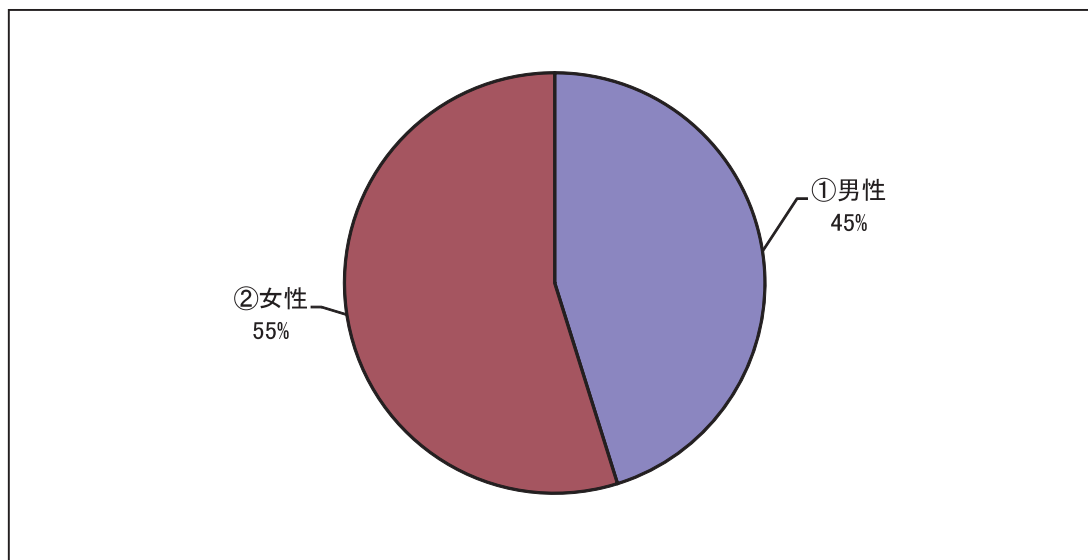
（1）回答数・回答地域

- ・ 回答数：321通（回答率27%）
- ・ 回答地域：小林市の用途内（42%）、用途外（35%）、旧野尻町（14%）、都市計画区域外（6%）、旧須木村（3%）の順に多い結果となりました。



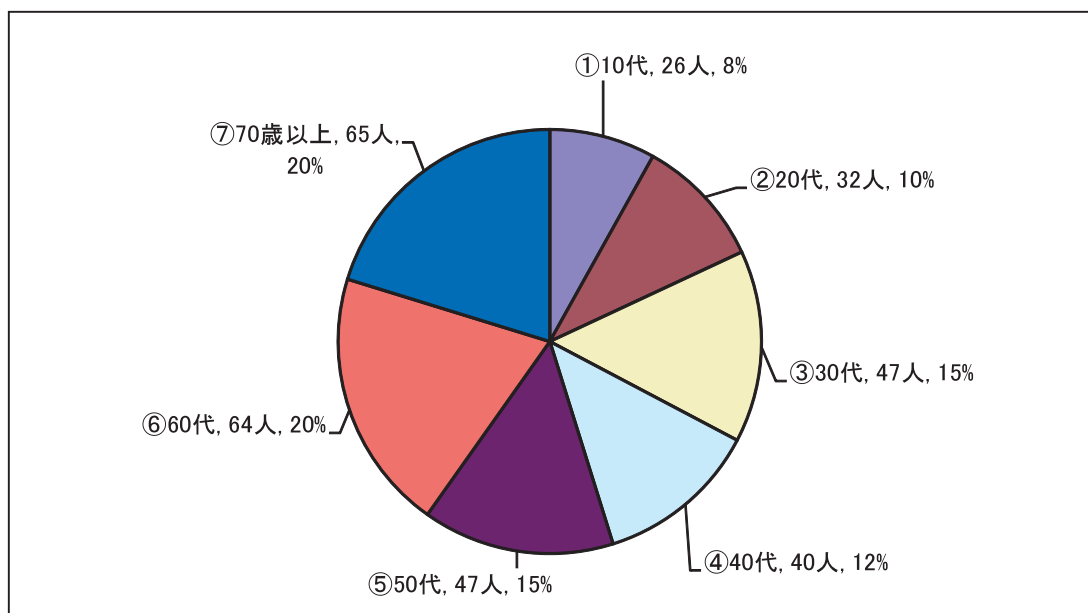
(2) 性別

性別については、概ね同じ割合になりました。



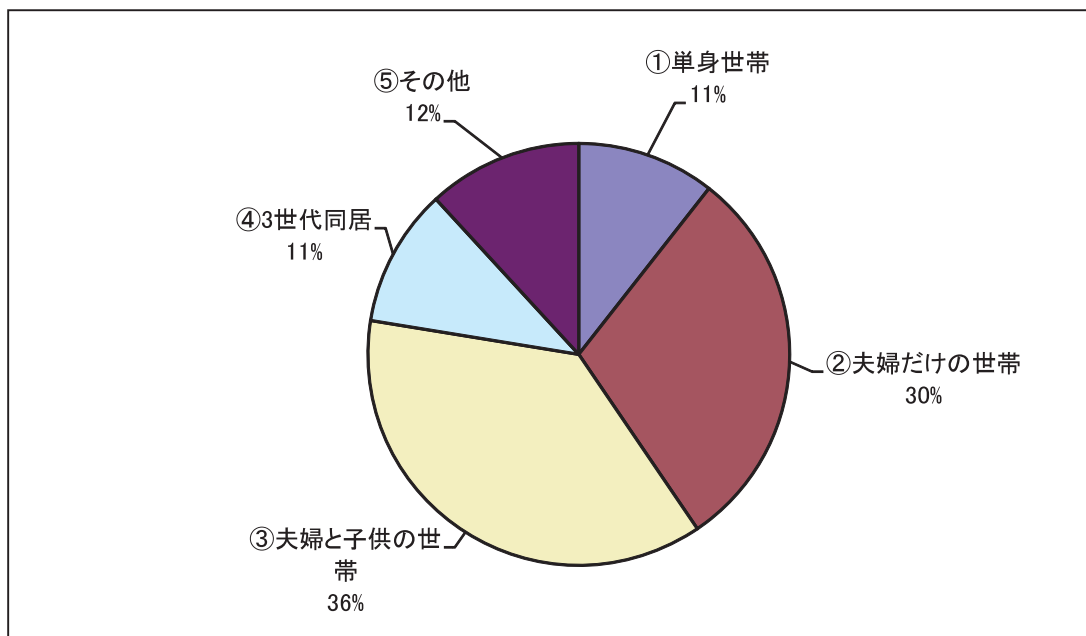
(3) 年齢

年齢が高いほど、割合が大きい結果になりました。



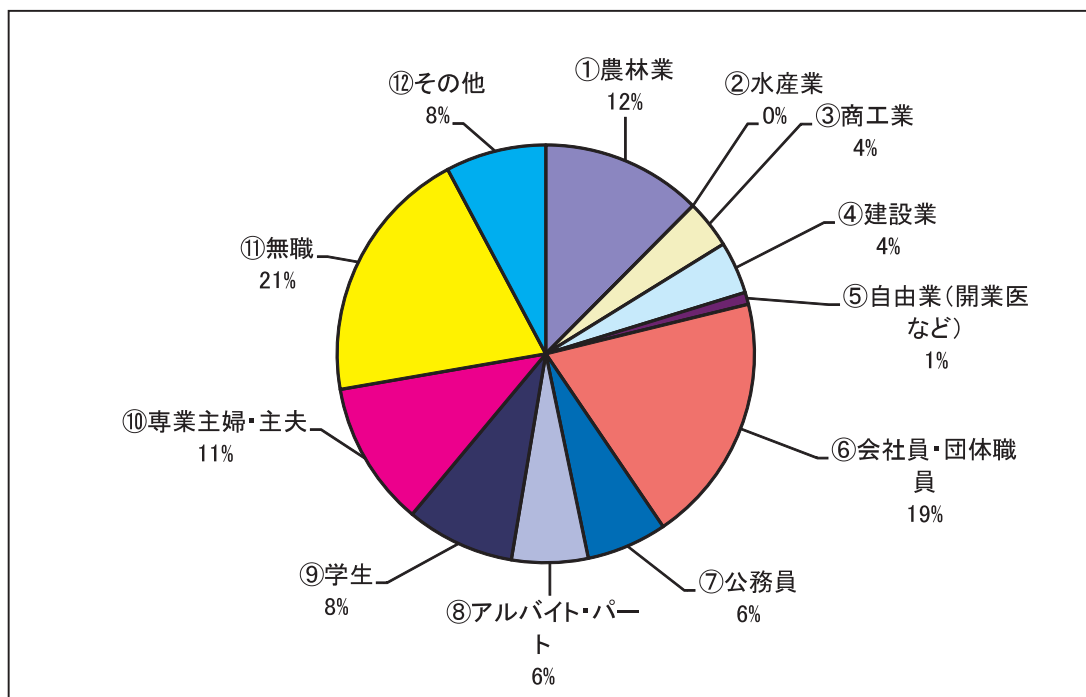
(4) 家族構成

家族構成については、夫婦と子どもの世帯の割合が最も大きい結果になりました。



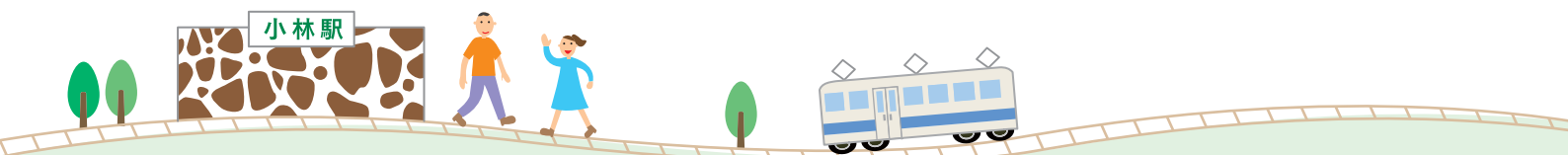
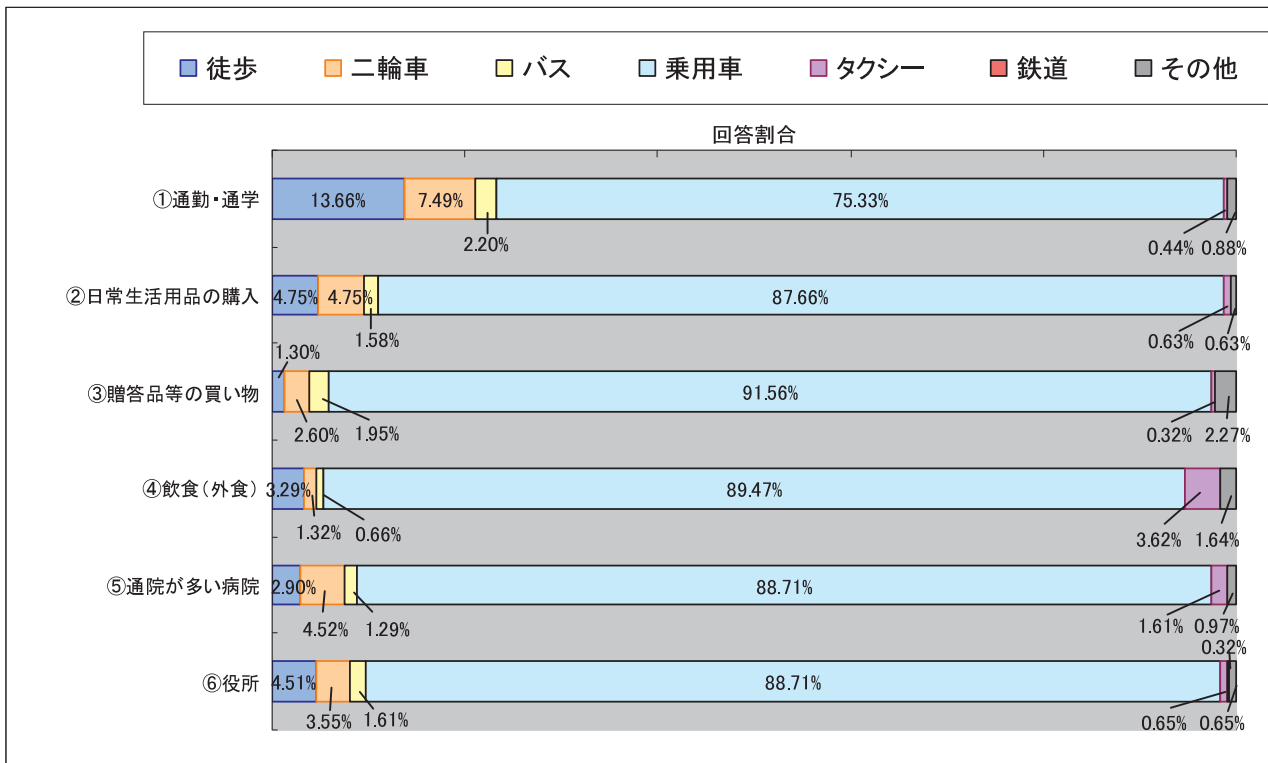
(5) 職業

職業は、会社員・団体職員が最も多く、その他の職業は概ねまんべんなく回答が得られました。



(6) 日常生活で主に利用する交通手段

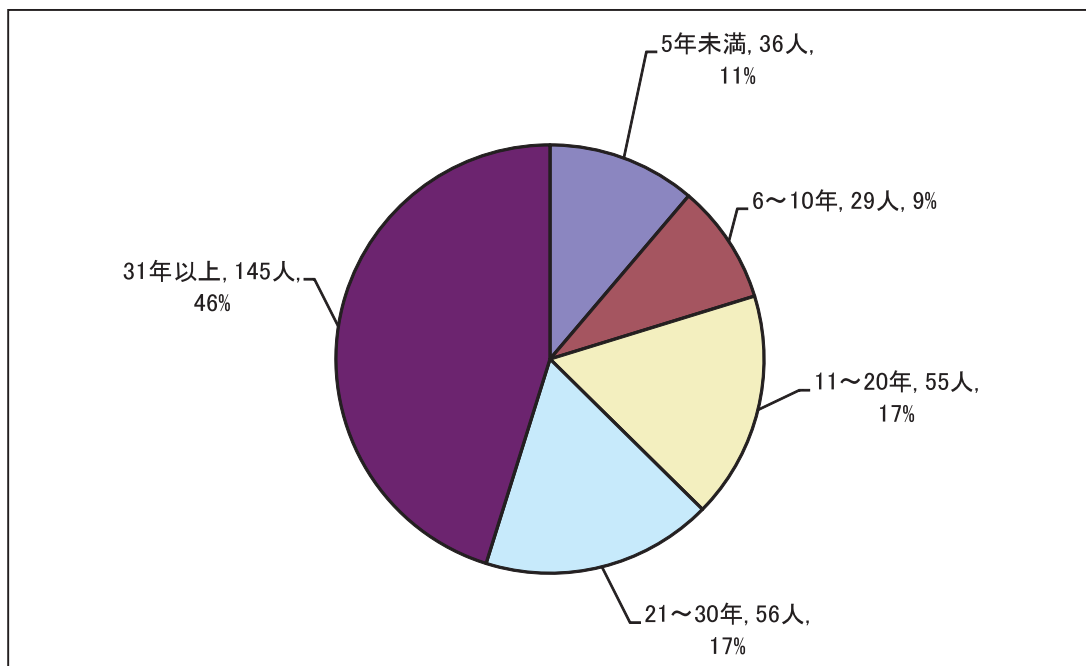
日常の主な交通手段は、いずれの目的においても乗用車の利用が非常に高いことがわかります。



(7) 現在の居住環境等について

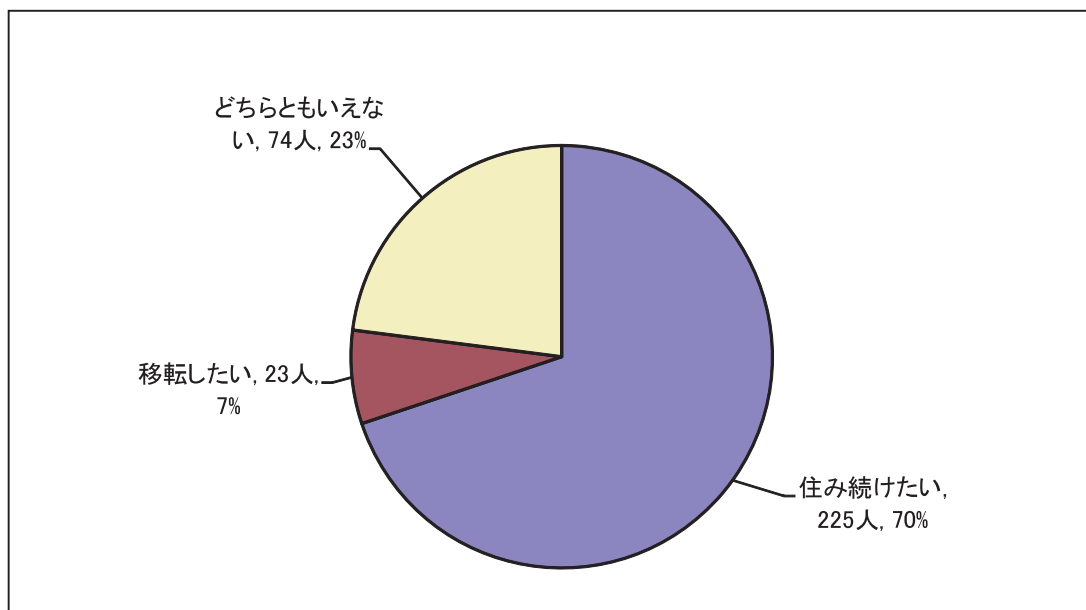
① 居住期間

居住期間については、31年以上の割合が最も大きい結果です。



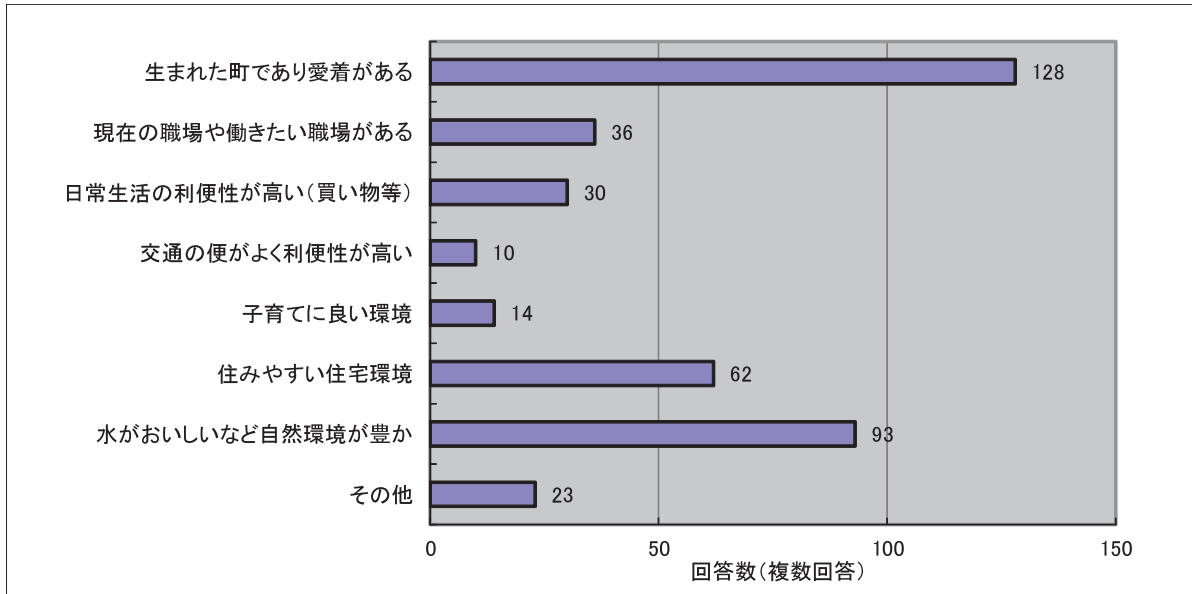
② 今後も小林市に住み続けたいと思うか

住み続けたい方が7割を占める一方で、移転したい方もみられる結果となりました。



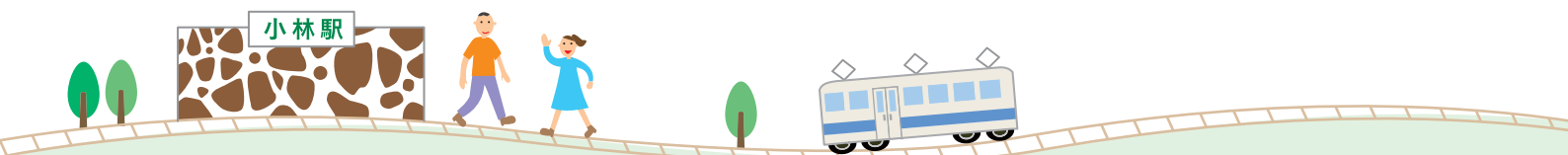
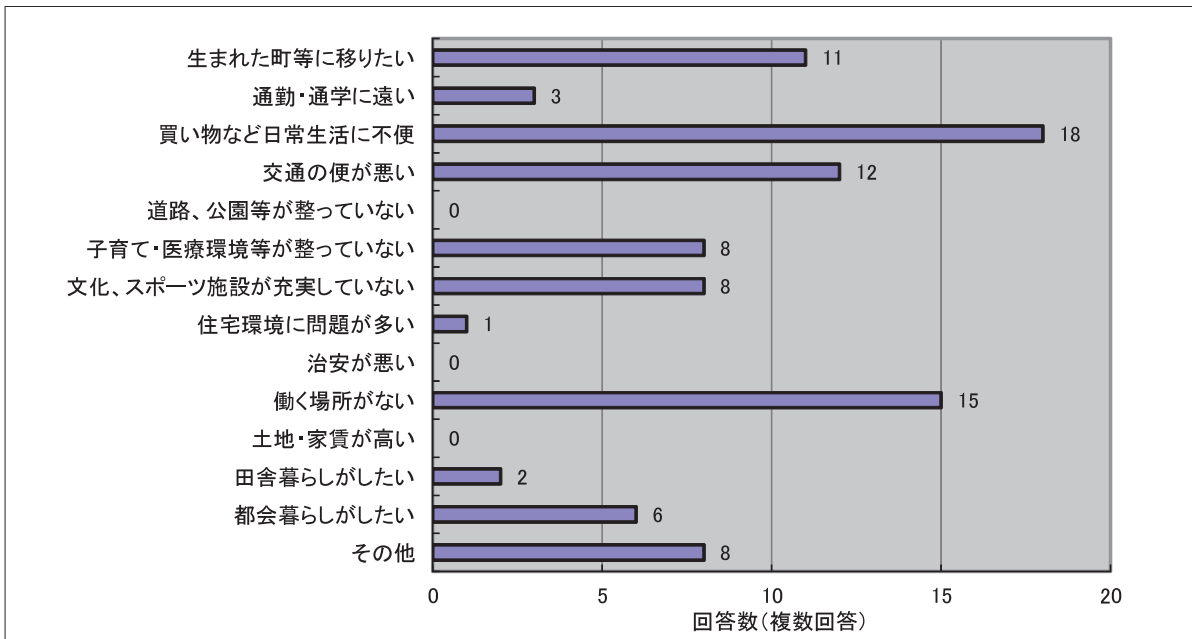
③ 今後も小林市に住み続けたい理由

「生まれた町であり愛着がある」という理由が最も多く、次いで「水がおいしいなど自然環境が豊か」という理由が多い結果となりました。



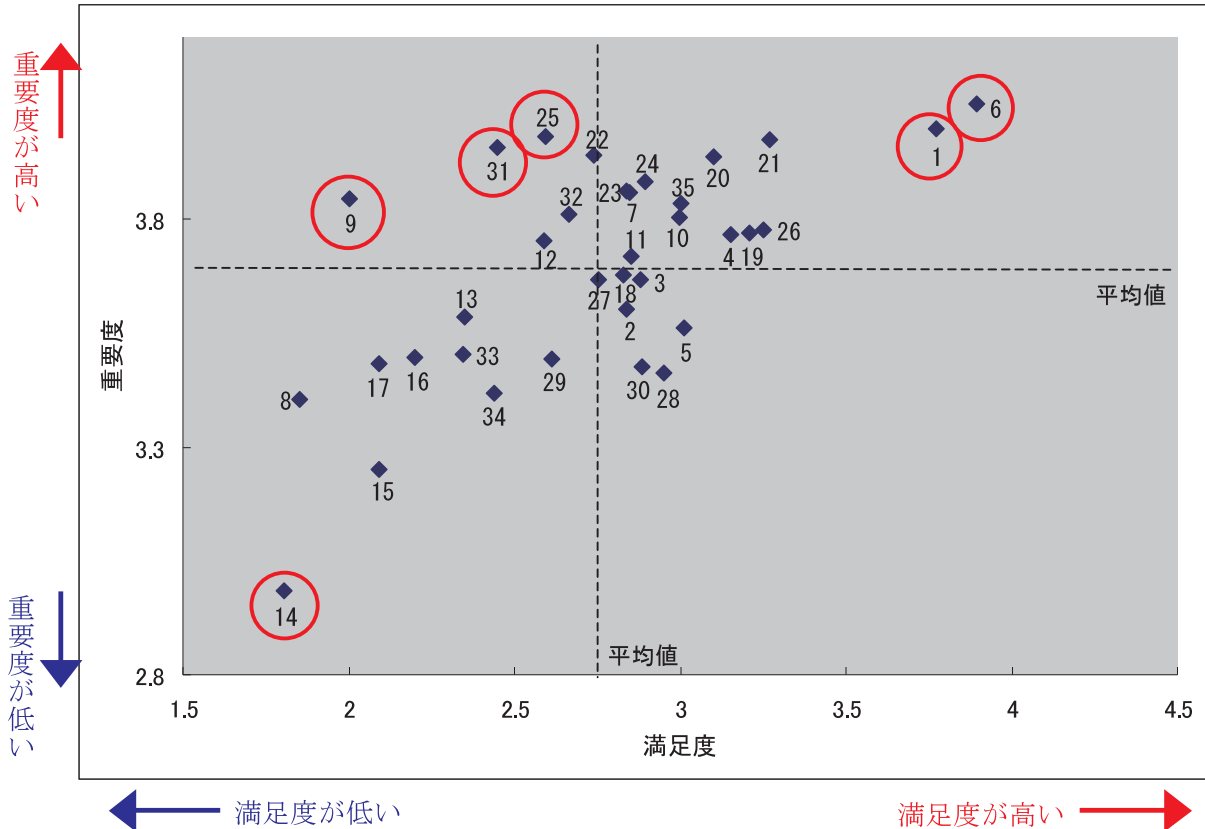
④ 移転したい理由

「買い物など日常生活に不便」という理由が最も多く、次いで「働く場所がない」という理由が多い結果となりました。



⑤ 満足度・重要度

満足度が低く、重要度が高い項目として「9. 働く場所の充実」や「31. 病院、医療環境の充実」、「25. 街路灯やカーブミラーなどの施設の充実度」があげられました。また、満足度が高く重要度も高い項目は「6. 自然・緑・水辺の豊かさ、美しさ」や「1. 日当たりや見晴らしのよさ」という結果となりました。反対に満足度が低く重要度も低い項目は「14. 鉄道の利便性」という結果となりました。

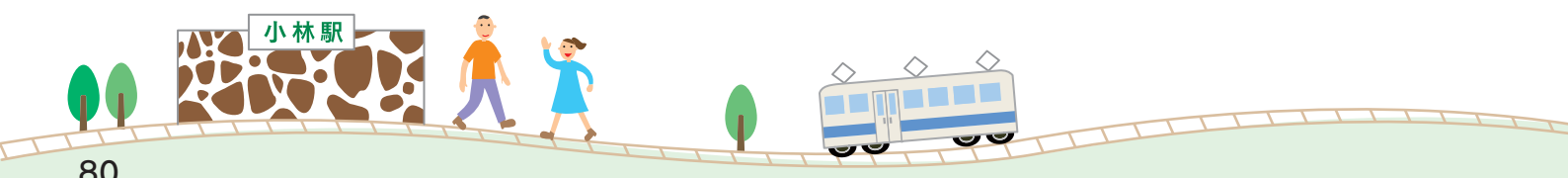
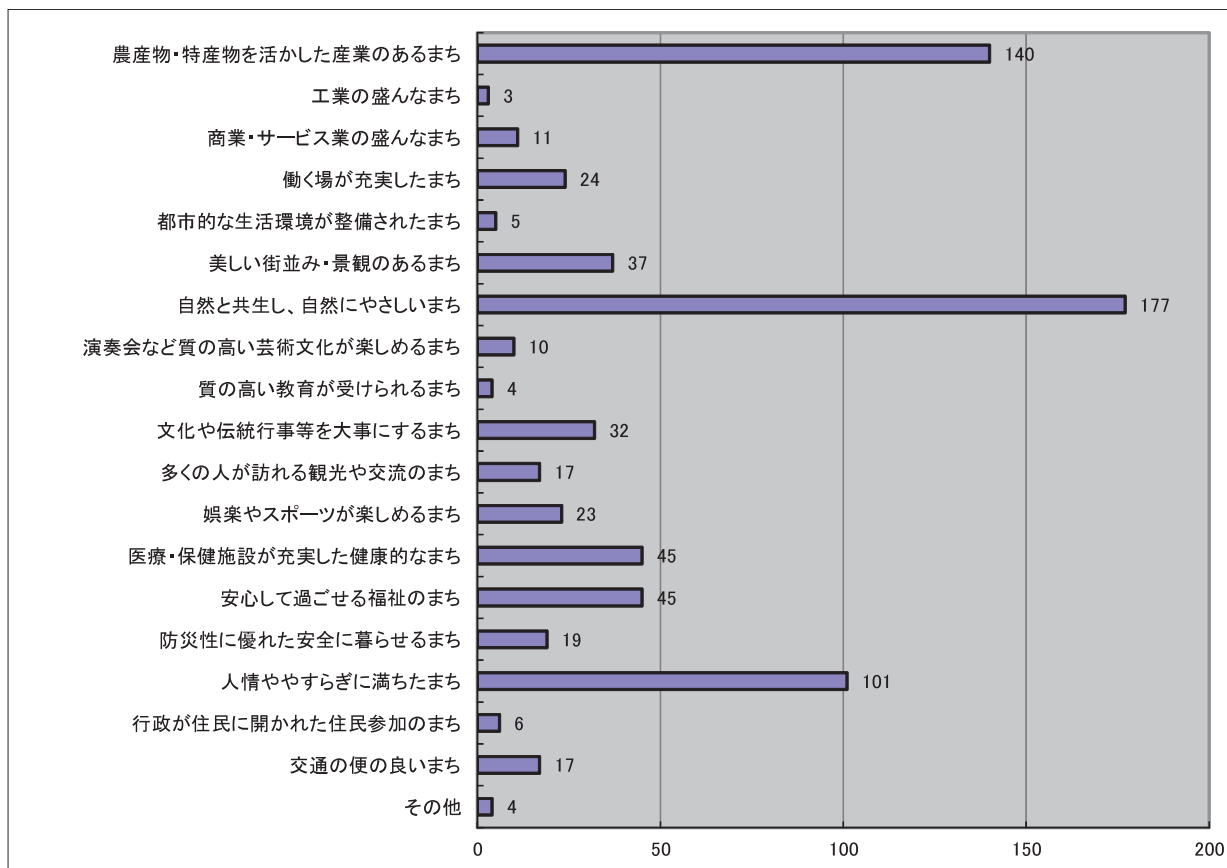


| | | | |
|----------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|
| お住まいの環境 | 1. 日当たりや見晴らしのよさ | 安全・安心 | 20. がけ崩れなど、土砂災害に対する安全性 |
| | 2. 工場などの混在による悪臭や空気の汚れ | | 21. 河川の氾濫や洪水など、水害に対する安全性 |
| | 3. 家の前の道路を走る車による騒音・振動 | | 22. 避難場所や避難路のわかりやすさや充実度 |
| | 4. ごみ処理やリサイクルの状況 | | 23. 密集した住宅などの火災に対する安全性 |
| | 5. 街並みの美しさ | | 24. 消防、防災設備や地区防災体制の充実度 |
| 快適性や利便性 | 6. 自然・緑・水辺の豊かさ、美しさ | 公共・公益施設・その他 | 25. 街路灯やカーブミラーなどの施設の充実度 |
| | 7. 日常の買い物の利便性 | | 26. 小中学校、保育所や幼稚園の充実度 |
| | 8. 遊び・レジャー施設の充実度 | | 27. 高校の充実度 |
| | 9. 働く場所の充実度 | | 28. 地区公民館や集会所の充実度 |
| 道路・交通施設等 | 10. 周辺市町・各地区を結ぶ道路の走りやすさ | 29. 図書館等の文化施設の充実度 | |
| | 11. 身近な生活道路の走りやすさ | 30. 体育館等のスポーツ施設の充実度 | |
| | 12. 歩道の歩きやすさや安全性 | 31. 病院、医療環境の充実度 | |
| | 13. 自転車の走りやすさ | 32. 老人や障害者のための施設の充実度 | |
| | 14. 鉄道の利便性 | 33. 地域資源を活かした交流・観光環境の充実度 | |
| | 15. バスの利便性 | 34. 市民がまちづくりへ参加できる環境の充実度 | |
| 都市施設その他 | 16. 身近に利用できる公園の充実度 | その他 | 35. 総合的な暮らしやすさ |
| | 17. 休日に家族で過ごせる大きな公園の充実度 | | |
| | 18. 生活排水対策(公共下水道、浄化槽等) | | |
| | 19. 水との親しみやすさ | | |

(8) 将来の小林市について

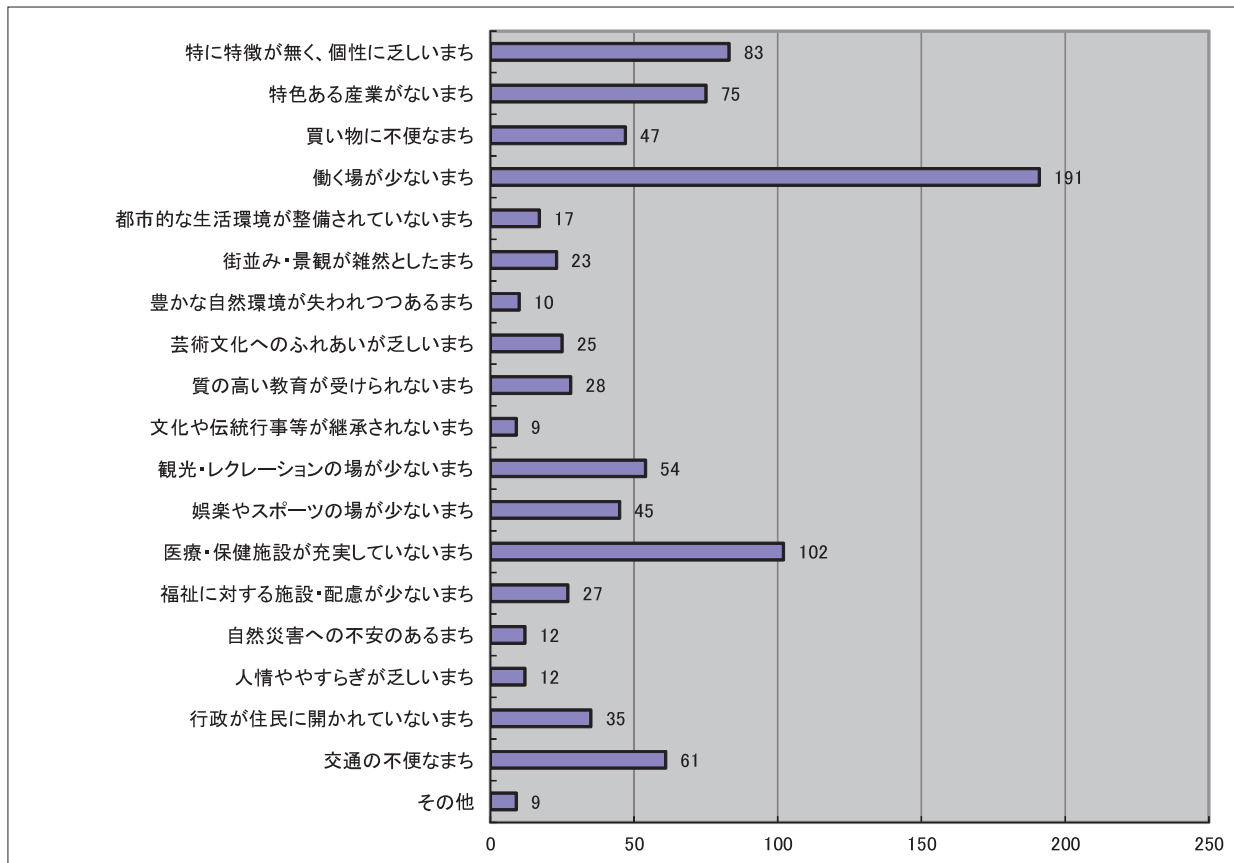
① 現在のイメージ (良いイメージ)

現在の良いイメージとして、「自然と共生し、自然にやさしいまち」、「農産物・特産物を活かした産業のあるまち」、「人情ややすらぎに満ちたまち」の順で高い回答が得られました。



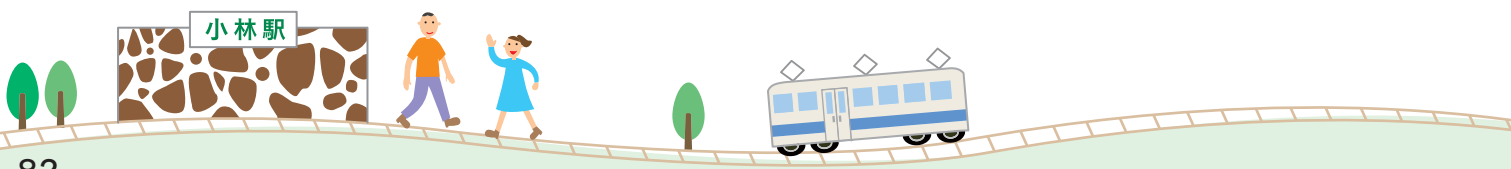
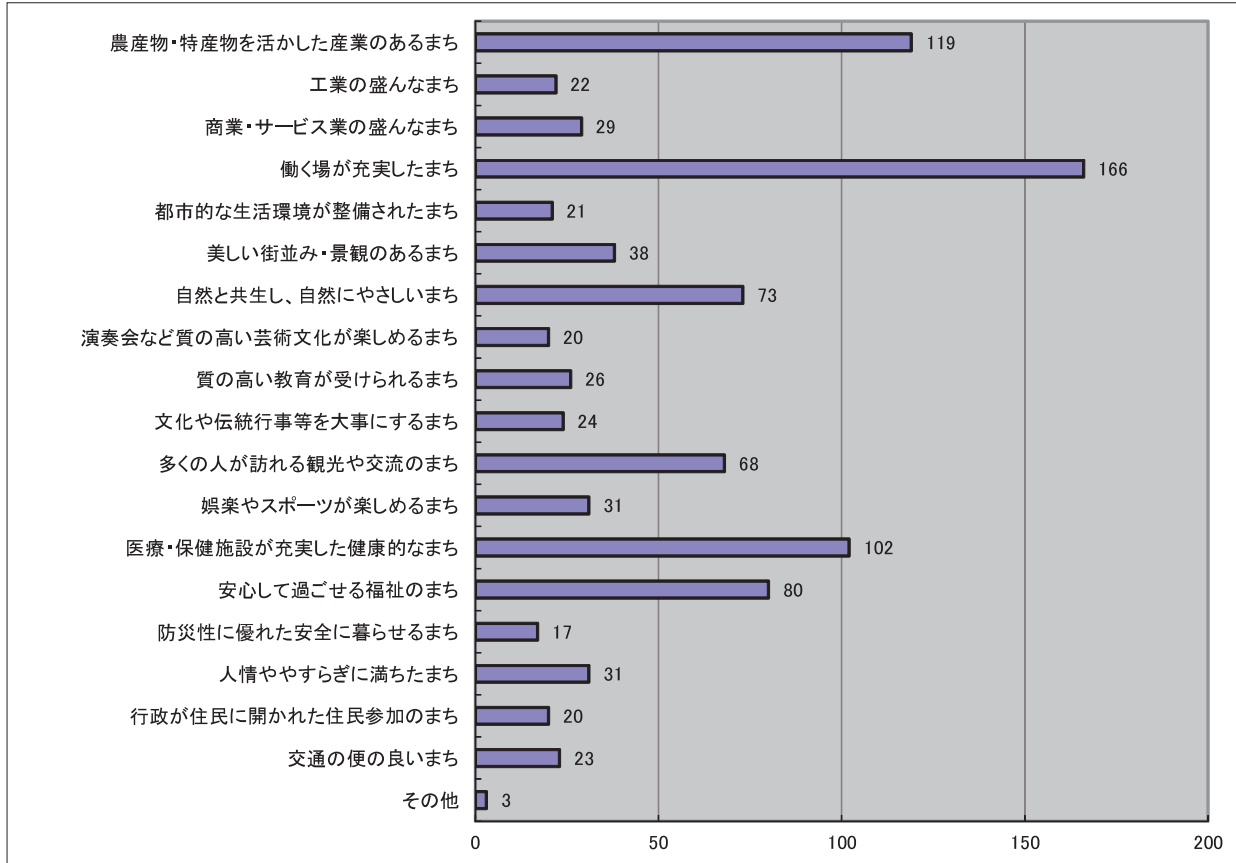
② 現在のイメージ（悪いイメージ）

現在の悪いイメージとして、「働く場が少ないまち」、「医療・保健施設が充実していないまち」の回答が高い結果となりました。



③ 将来のイメージ

将来なって欲しいイメージとして、「働く場が充実したまち」、「農産物・特産物を活かした産業のあるまち」、「医療・保健施設が充実した健康的なまち」の順で高い回答が得られました。

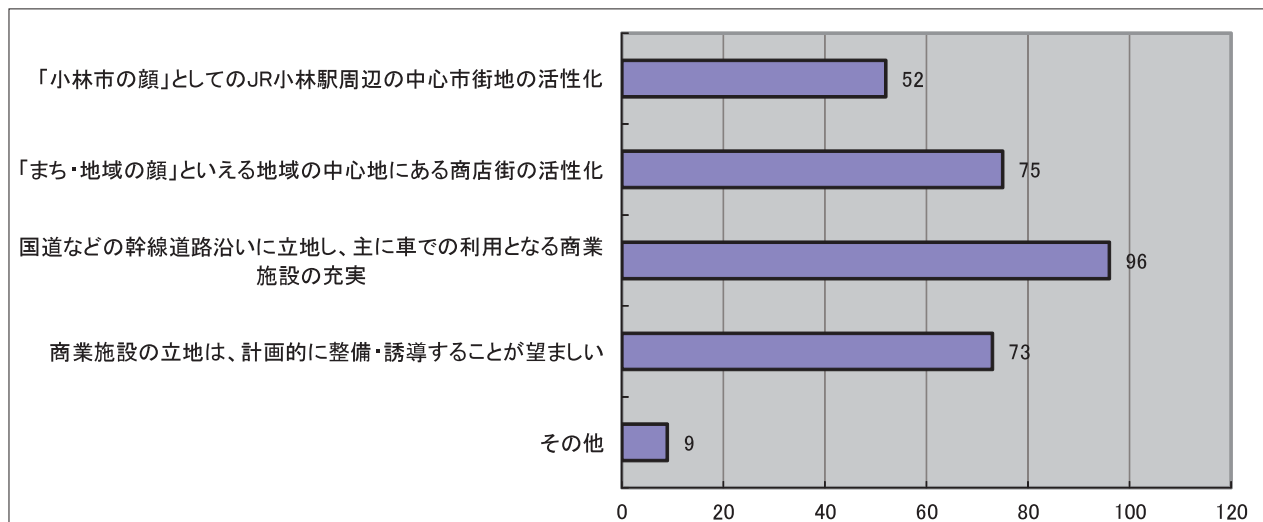


(9) まちづくりの進め方について

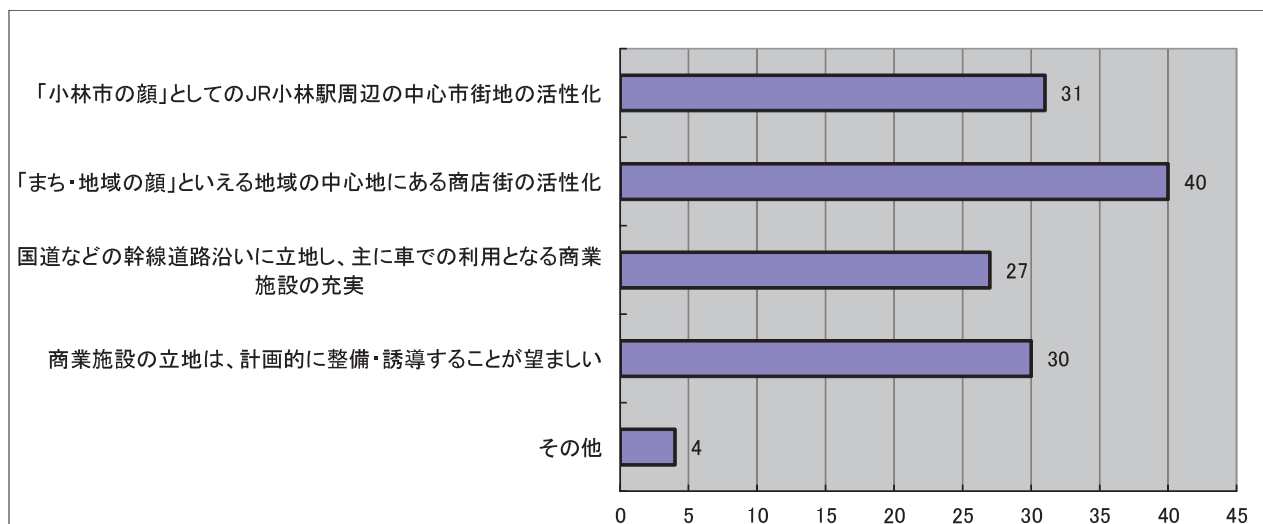
① 商業地について

市全体では、「国道などの幹線道路沿いに立地し、主に車での利用となる商業施設の充実」の回答が多いものの、用途地域内での回答結果は「『まち・地域の顔』といえる地域中心地にある各商店街の活性化」の回答が最も多い結果になりました。

・ 小林市全体による集計結果

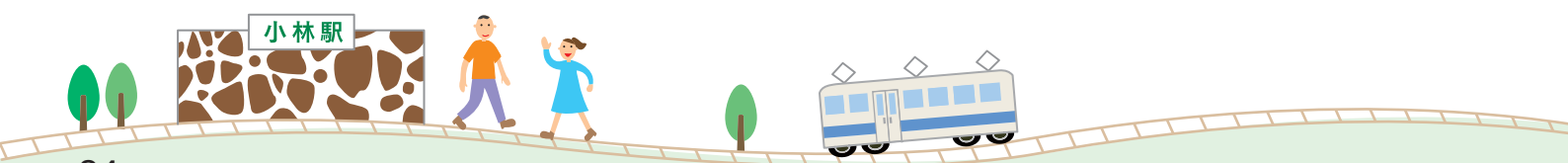
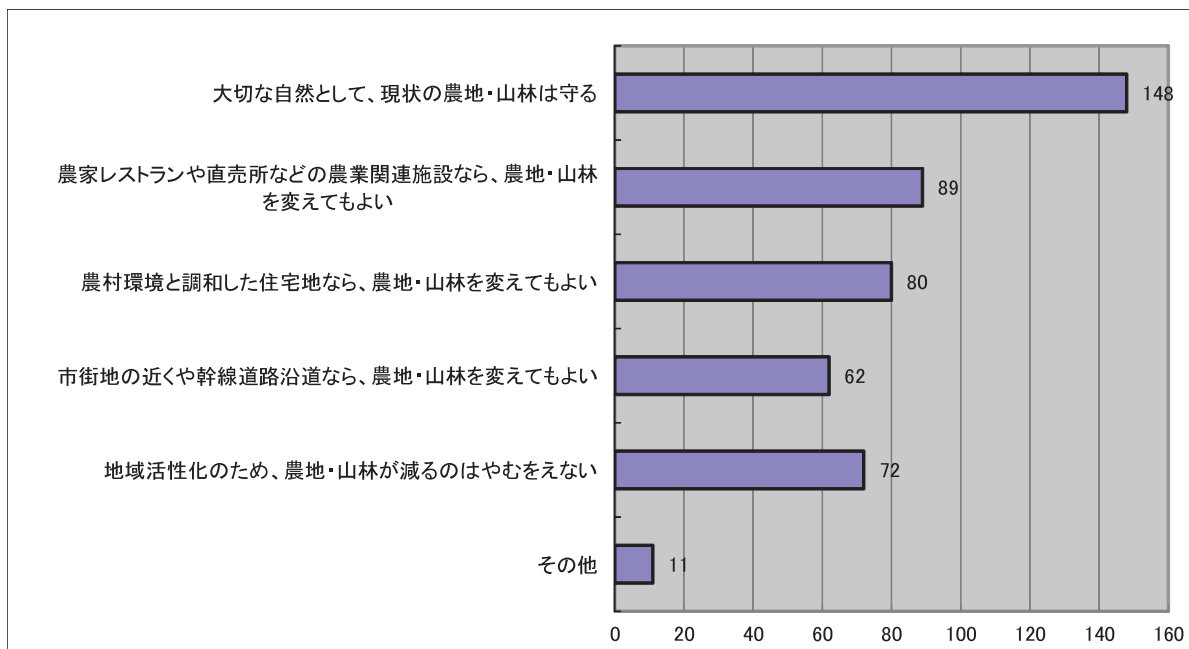


・ 用途地域内（旧小林市）による集計結果



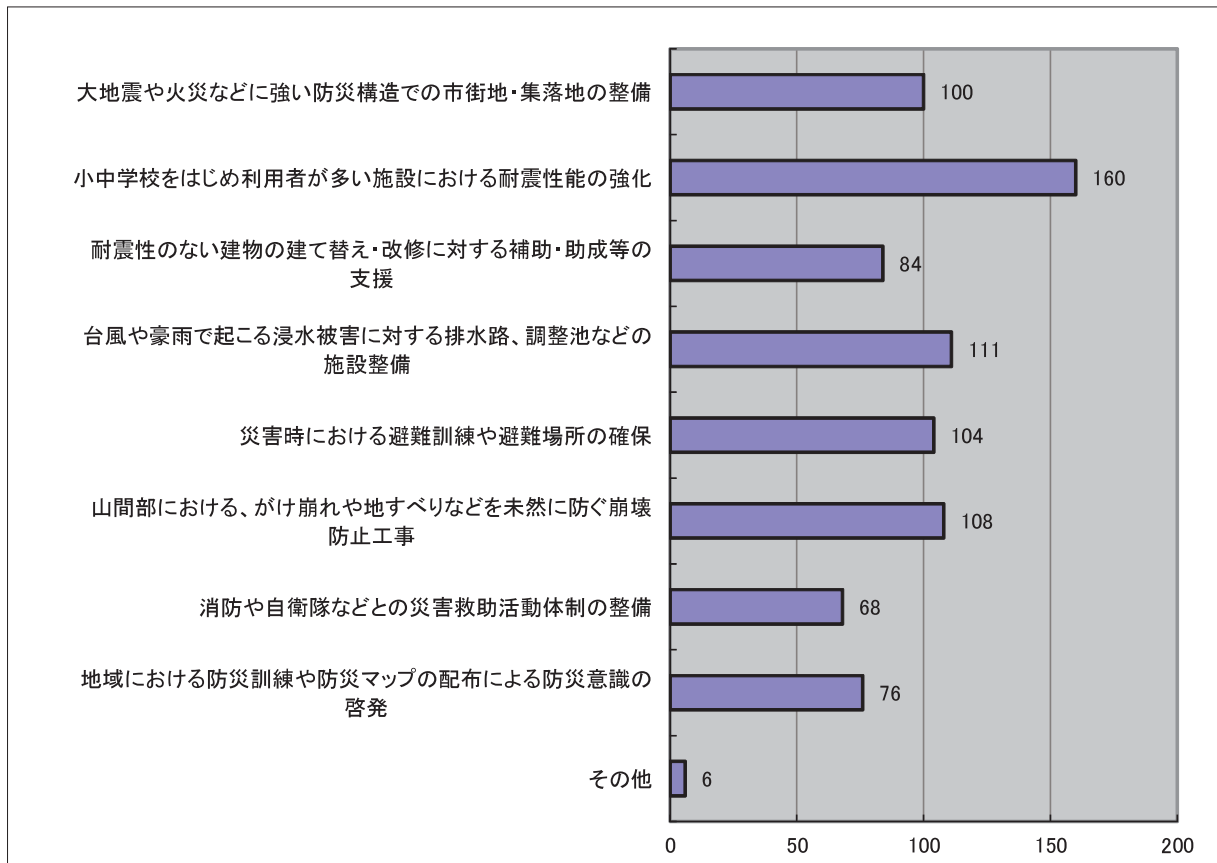
② 農地・山林について

「大切な自然として、現状の農地・山林は守る」の回答が圧倒的に多い結果となりました。



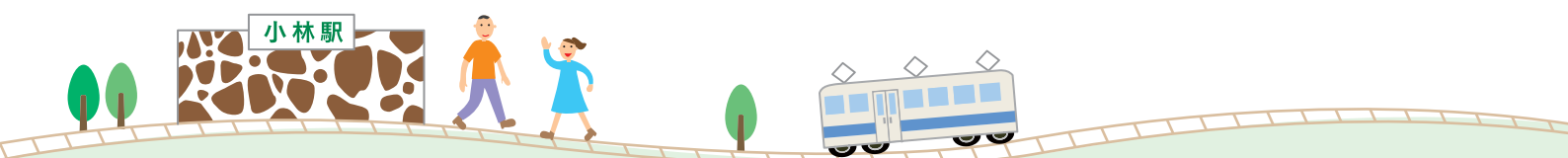
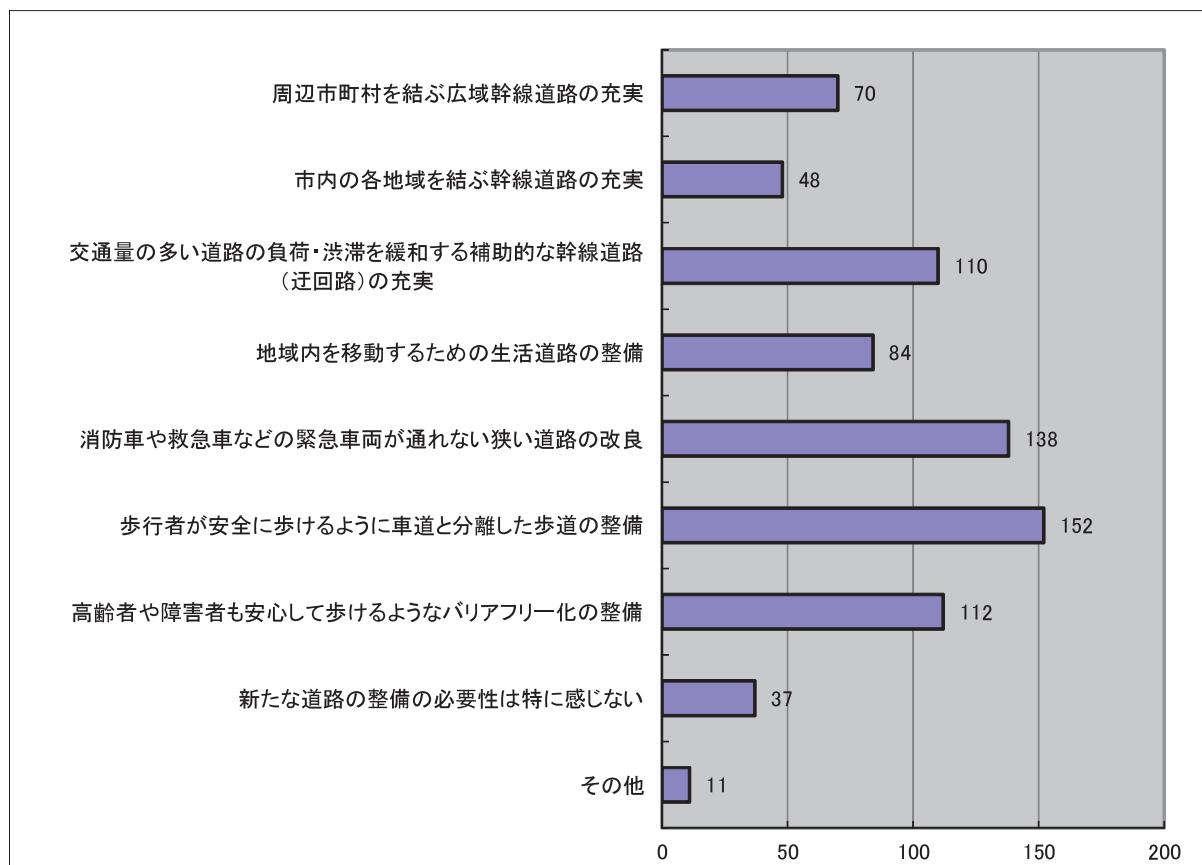
③ 災害に対する取り組みについて

「小中学校をはじめ利用者が多い施設における耐震機能の強化」の回答が多く、次いで「台風や豪雨で起こる浸水被害に対する排水路、調整池などの施設整備」や「山間部における、がけ崩れや地すべりなどを未然に防ぐ崩壊防止工事」の回答が多い結果となりました。



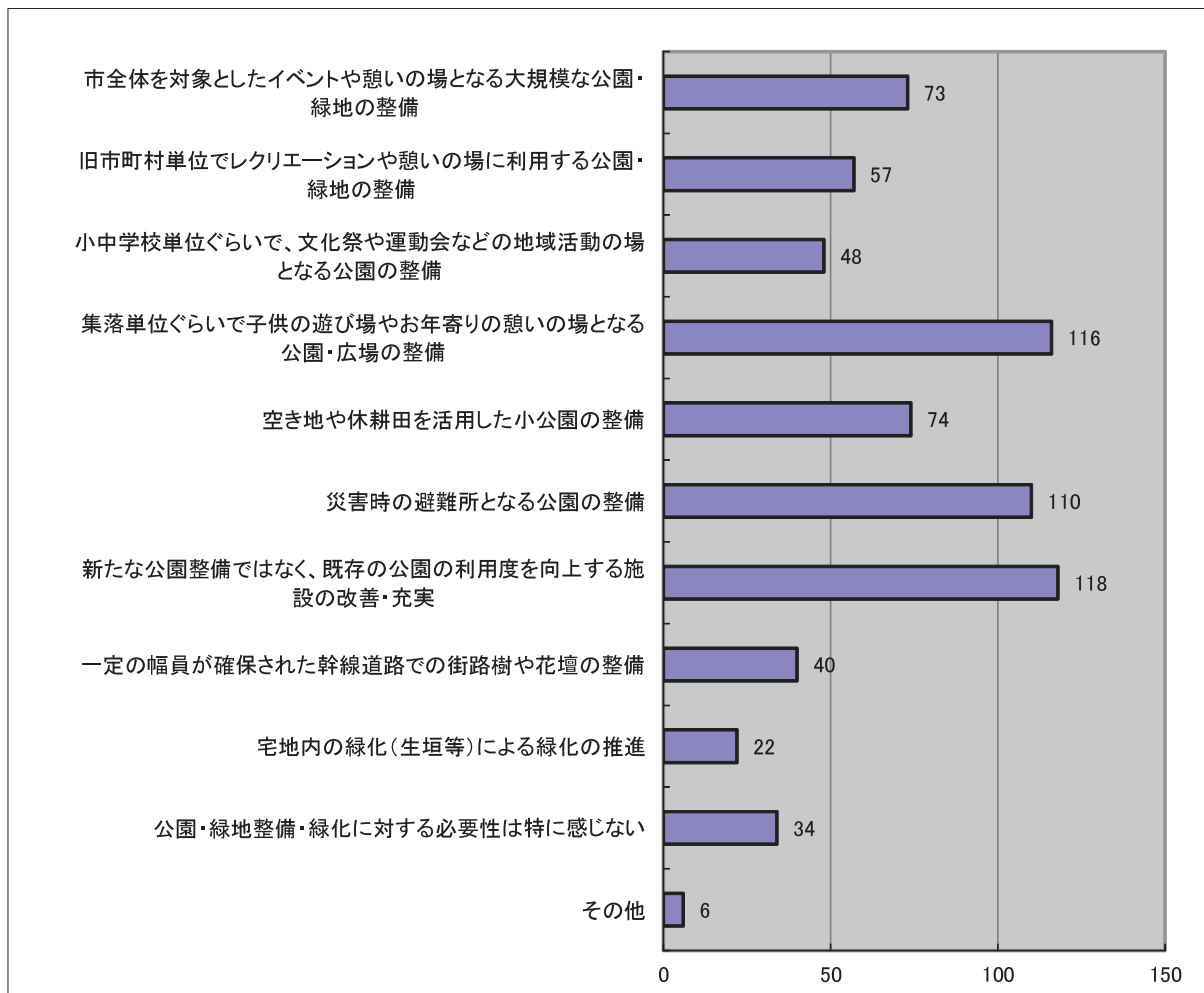
④ 市内の道路について

「歩行者が安全に歩けるように車道と分離した歩道の整備」の回答が最も多く、次いで「消防車や救急車などの緊急車両が通れない狭い道路の改良」の回答といった歩行者や生活環境に対する配慮の意見が多い一方で、「交通量の多い道路の負荷・渋滞を緩和する補助的な幹線道路（迂回路）の充実」といった道路の交通機能の向上を求める回答も比較的多い結果となりました。



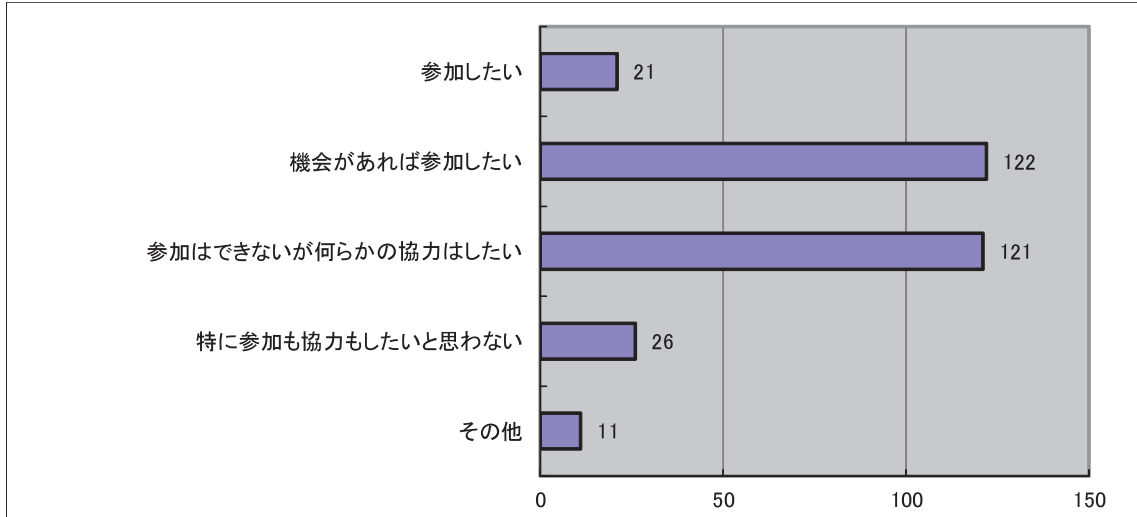
⑤ 市内の公園・緑地整備・緑化について

「新たな公園整備ではなく、既存の公園の利用度を向上する施設の改善・充実」の回答が最も多く、次いで「集落単位ぐらいで子供の遊び場やお年寄りの憩いの場となる公園・広場の整備」の回答、「災害時の避難所となる公園の整備」の回答が多い結果となりました。



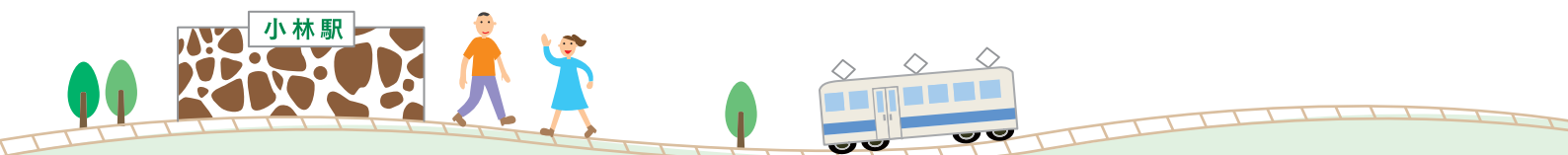
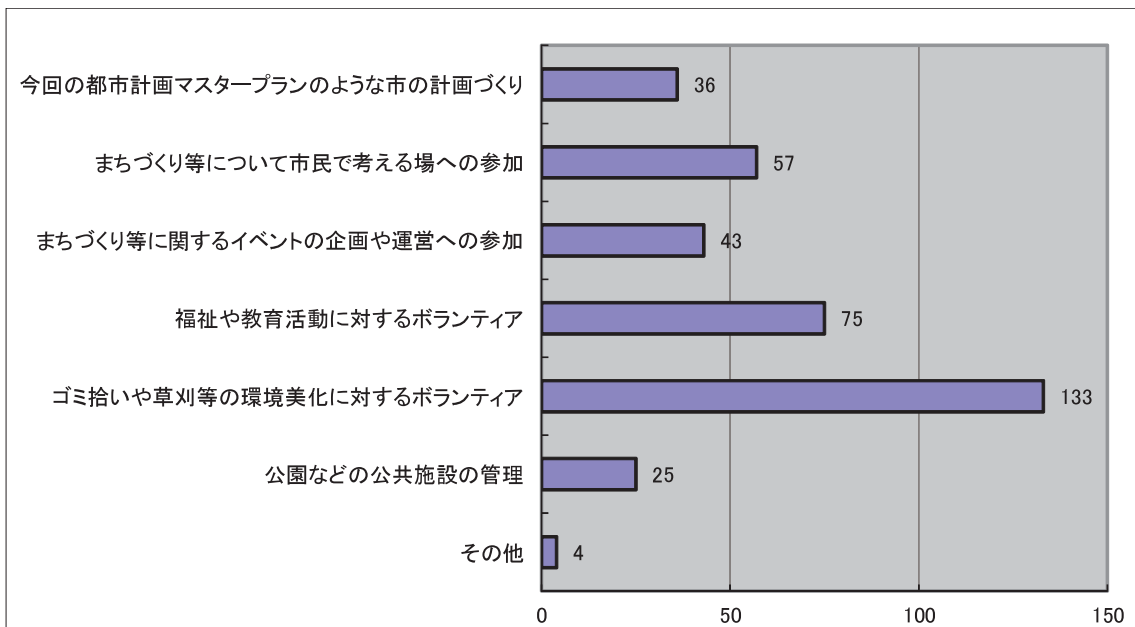
⑥ まちづくりへの参加意欲

まちづくりへの参加意欲については、「機会があれば参加したい」との回答が多い結果となりました。



⑦ 参加意欲のあるまちづくりの内容

参加頂ける内容については、「ゴミ拾いや草刈等の環境美化に対するボランティア」が圧倒的に多い結果となりました。また、まちづくり等について考える場やイベントへの参加についても、回答者が少ない結果となりました。

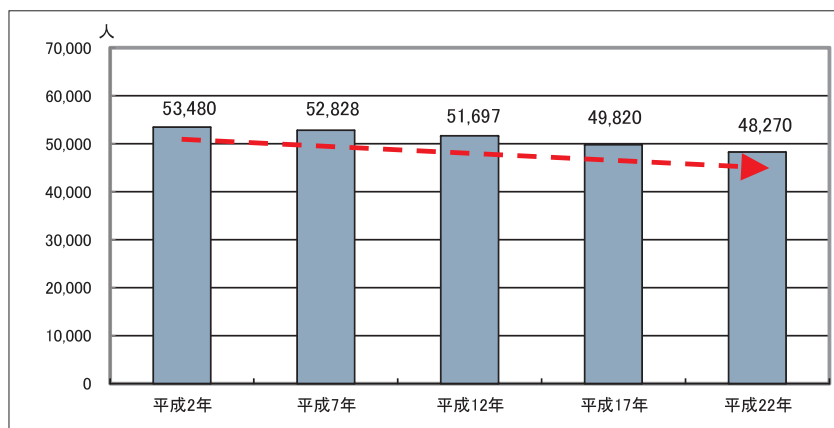


第6章 まちづくりの基本課題

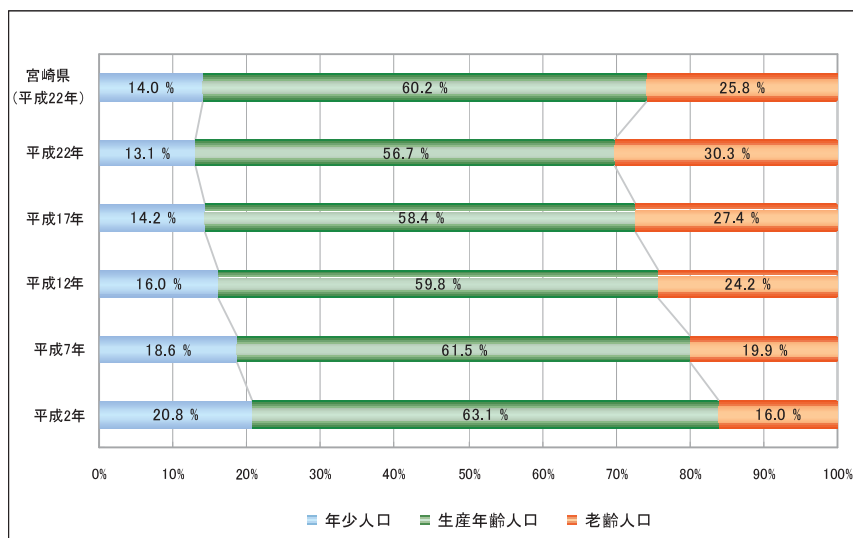
前述までで整理した本市の状況の中でも、特に注視する必要がある『本市の人口フレーム』、『土地利用・開発動向』、『市民意向』を踏まえて、まちづくりの基本課題を以下の3点としました。

課題1. 人口減少社会 の進展

全国的に人口減少社会・少子高齢化が急速に進行している状況がありますが、本市においてもその状況がみられ今後も継続的に進行するものとみられます。このような状況の中、本市は『魅力ある住みよい地域づくり』を進める西諸圏域の中心市として、定住を促すための生活機能強化等を図る必要があるといえます。



図：人口の推移

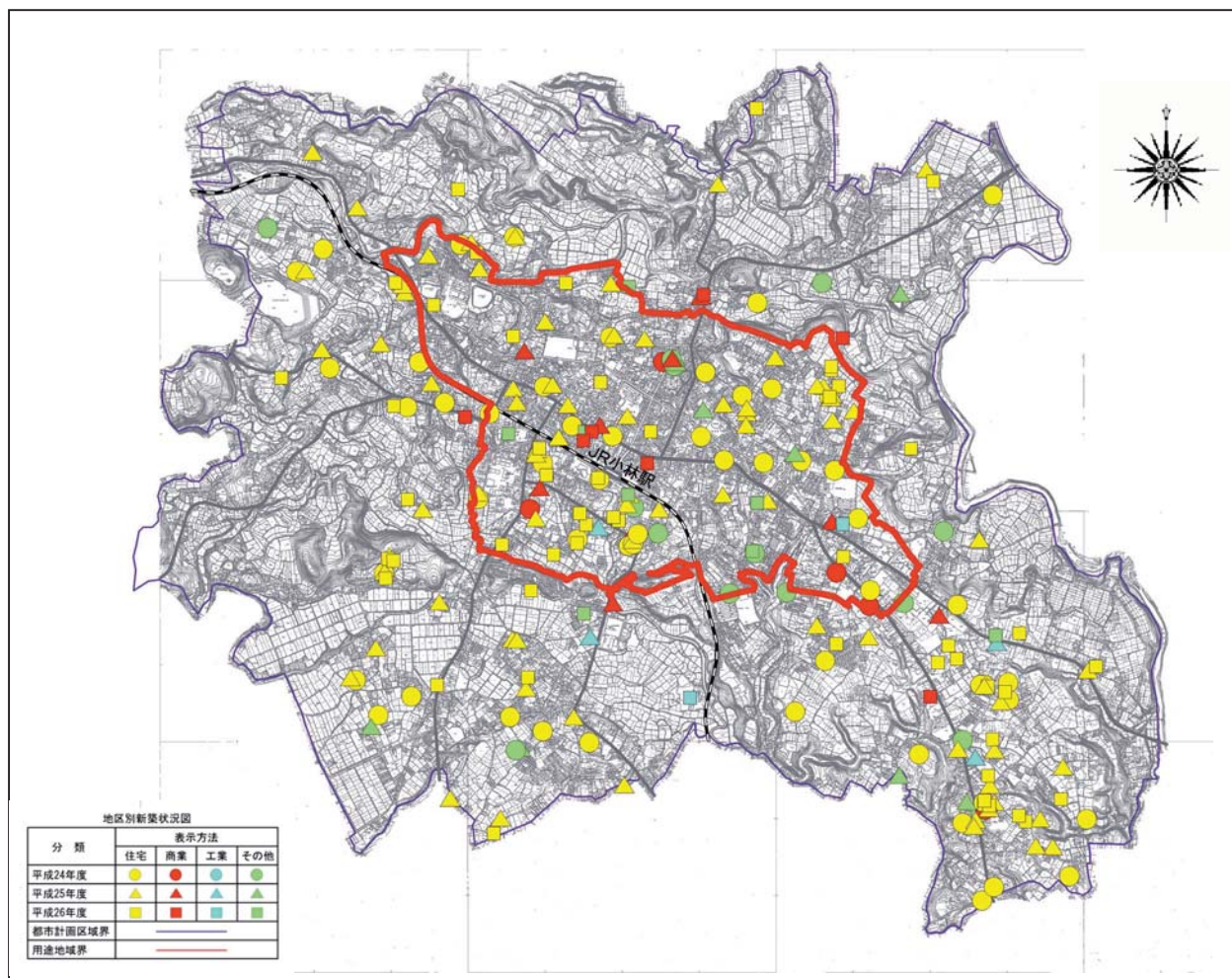


図：年齢階層別比率の推移

※年齢階層別比率の数値について、四捨五入の関係で表示の値の合計が100%にならない場合があります。

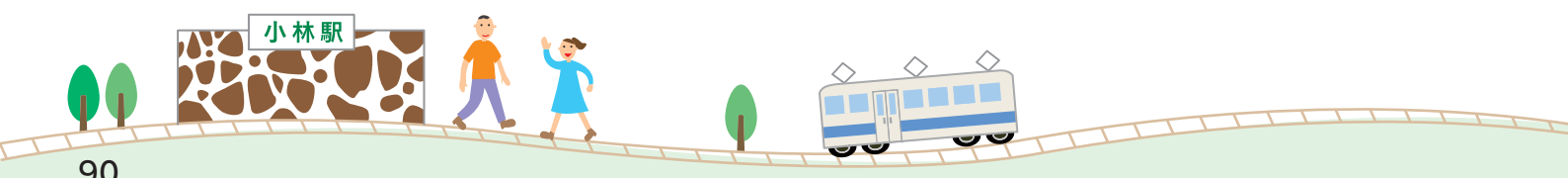
課題 2.
用途地域外での
土地利用・開発
動向

本市においては、用途地域外での新築建物が少なくなく、他市と比較しても市街地外の都市的土地利用が高い状況にあります。新築建物の用途は住居系が多いものの、商工業も立地しており、「中心市街地の衰退」や市民アンケートにおいて意見の多かった「農地の保全」の点等で問題があるといえます。



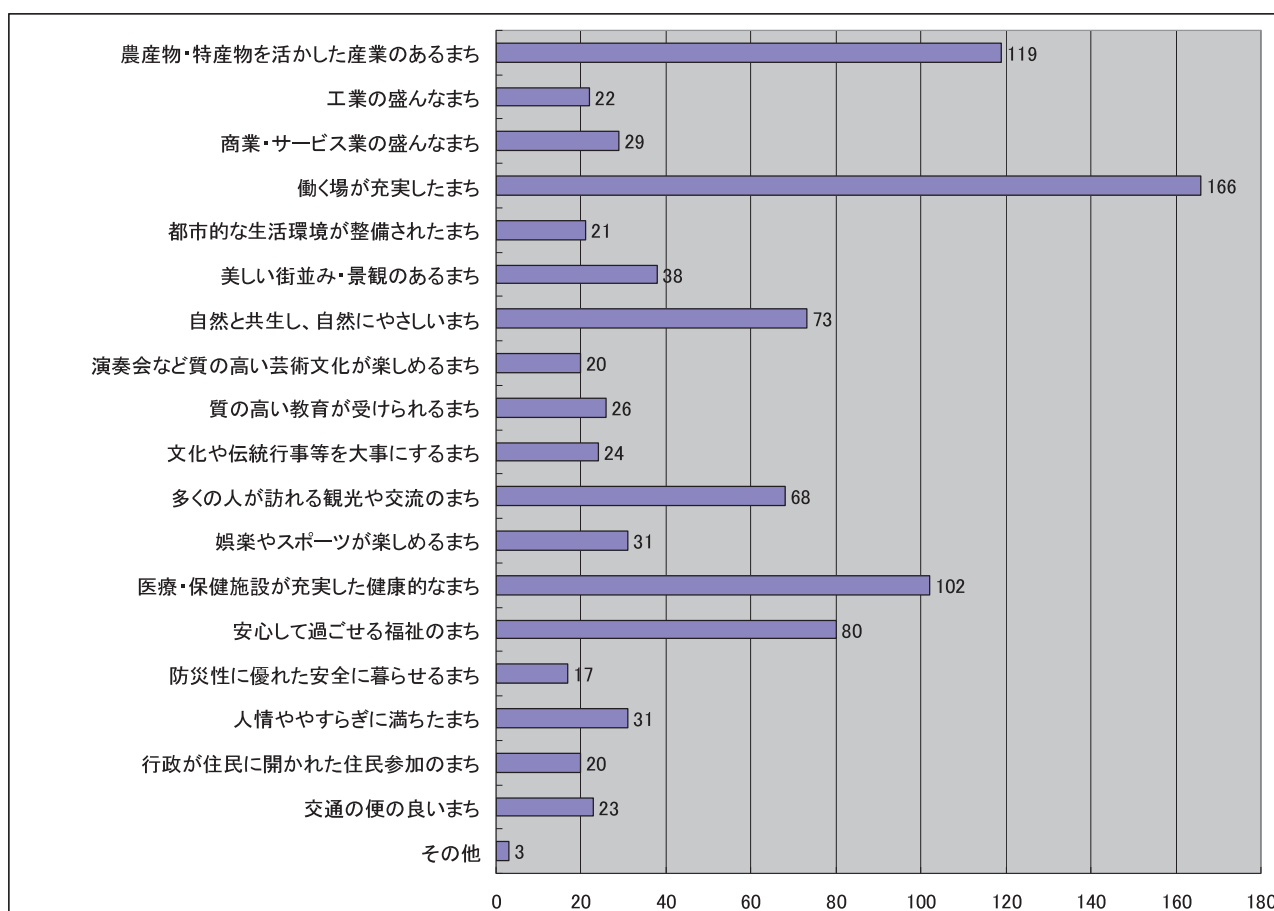
【資料：小林市都市計画基礎調査】

図：新築着工の位置図



課題3.
産業・雇用の
充実に関する
ニーズ

本市は農業を基幹産業として西諸圏域の経済を牽引する中心市に位置づけられています（定住自立圏構想 中心市宣言書）。しかし、市民アンケートでは、現在の悪いイメージとして『働く場が少ない』という意見や将来なって欲しいイメージとして『働く場が充実したまち』『農産物・特産物を活かした産業のあるまち』の意見が多く、産業や雇用の充実が求められている状況にあるといえます。



図：将来なって欲しいイメージ

